

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」大分中津校			
○保護者評価実施期間	2025年11月15日 ~ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2025年11月15日 ~ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりに最適化された個別療育プログラム	お子様一人ひとりの発達状況や特性、保護者様のご要望を丁寧に伺い、個別支援計画を作成しています。その計画を基に最適なプログラムを組み立て、無理なく力を伸ばせる環境を整えています。マンツーマン支援により柔軟な対応ができ、安心して取り組める点が大きな強みです。	個別療育の強みを生かしながら、より多様な経験が積める環境づくりを進めてまいります。お子様同士の関わりや集団活動の機会を広げ、社会性を育む取り組みを強化します。また、保護者様との連携を深め、ご家庭と事業所が一体となって支援できる体制づくりにも努めてまいります。
2	保護者様が安心して相談できる体制と環境	保護者の方が相談しやすい環境づくりを大切にしています。毎回、お子様の活動の様子を丁寧にお伝えし、ご家庭や園での様子も伺いながら必要に応じて助言しています。また、療育の見学ができる保護者スペースを設け、安心して相談できる体制を整えています。	今後も保護者支援の充実を図り、安心して悩みを話せる場づくりに努めます。環境整備に加え、スタッフの専門性と対応力向上のための研修を進め、より相談しやすい体制を整えてまいります。
3	利用児の力を地域へ届ける交流イベント	地域向けのイベントを定期的に行い、こどもたちも主体的に参加できる機会を設けています。地域との関わりを自然に広げられるよう工夫し、交流を通してつながりが深まる環境づくりに取り組んでいます。	地域イベントをさらに充実させるため、こどもたちが主体的に参加できる内容を増やし、準備段階から関わる仕組みを取り入れています。地域の方との交流機会も広げ、こどもたちが自然に地域とかかわる環境づくりを進めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者の送迎を行っていない	本校舎では送迎を保護者様にご協力いただいております。	利用時間はできる限りご希望に合わせて調整していますが、混雑する時間帯やスタッフ配置の都合で対応が難しい場合があります。改善に向けて、利用状況の見直しや時間帯の分散化を進め、より利用しやすい体制づくりに取り組んでいます。
2	公共交通機関による通所が難しい	本校舎へお越しの際は、公共交通機関としてバスが利用できます。最寄りの「全徳入口」バス停から徒歩1分です。本数が限られるため、待ち時間は本校舎内でお過ごしいただけます。	バスの本数が限られているため、待ち時間は本校舎をご利用いただけますが、その時間はサービス提供時間には含まれません。なお、駐車場は約10台分を確保しておりますので、お車でお越しの際はご活用ください。
3	国道沿いで交通量が多いため、出入口で飛び出しの危険性がある	本校舎は国道213号沿いに位置しており、交通量が多いため、出入口では飛び出しの危険が生じやすい状況です。安全確保のための見守りや動線の工夫を進めています。	事故や怪我を防ぐため、出入口は施錠し、開閉は保護者様にお願いしています。お子様が誤って開錠しないよう、視覚支援としてイラストを掲示しています。また、本校舎に関係のない車両の侵入を防ぐためのスタンドも設置し、安全確保に努めています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」大分中津校
------	---------------------

公表日 2026年2月3日

利用児童数 20

回収数 15

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2			・はっきり分けられていてとても過ごしやすいです。	今後も安心して過ごせる環境づくりを大切にしつつ、より快適に感じていただけるよう、スペースの使い方や環境整備の工夫にも引き続き取り組んでまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15				・一対一でとても充実しています。	今後も安心して過ごしていただけるよう、適切な支援体制の維持に努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12			3	・目で見てわかるので迷わないで良いと思います。	今後もこどもたちが安心して活動できるよう、わかりやすい環境づくりに努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				・自宅よりきれいですっきりして自宅もきれいでないと思います。	今後も気持ちよく過ごしていただける環境づくりを続けてまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				・一人一人に合った支援が充分されてます。	今後もお子さまに寄り添った支援が行えるよう、丁寧な関わりと環境づくりに努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1	・とてもあってます。	今後も公表内容と実際の支援が一致し、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				・保護者の気持ちにあって安心です。	今後もお子さまや保護者の方の思いを丁寧に受け止め、ニーズに沿った計画づくりに努めてまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14			1	・とても分かりやすく助かります。	今後も本人支援・家族支援・移行支援の観点を踏まえ、お子さまに必要な支援項目と具体的な内容を丁寧に設定し、分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14			1	・しっかりとしたカリキュラムにそって助かります。	今後も計画に基づいた一貫性のある支援を大切にし、お子さまにとって安心できる環境づくりに努めてまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14			1	・毎回違う視点から見て頂けていると思います。	今後も固定化を防ぎつつ、多様な視点やアプローチを取り入れたプログラムづくりに努めてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8		3	4	・イベントがあり、地域の交流が出来ていてありがとうございます。	今後も地域とのつながりを大切にし、こどもたちが多様な関わりを持てる機会づくりに努めてまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15				・細かく教えて頂いています。	今後も安心してご利用いただけるよう、丁寧で分かりやすい説明に努めてまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15				・今の状況に合わせて内容を決めてもらえてます。	今後もお子さまの状態や成長に応じて、計画と支援内容を丁寧に調整しながら取り組んでまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12		1	2	・お兄ちゃんの参加で、きらりさんの様子を知ってもらえて、そういう場がありますが、ありがとうございます。	今後もご家族が安心して関わりを深められる機会づくりに努めてまいります。
保護者	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1		1	・細かく気にかけて頂いて助かります。ちょっとした変化にすぐに気づいてくれます。	今後も保護者の方と丁寧に情報を共有しながら、お子さまの健康や発達の様子をしっかりと見守ってまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14			1	・定期的にありますが、通所の時にもちょっとした事で相談させてもらえ助言を頂いています。	今後も日常の中で気軽に相談できる関わりを大切にし、保護者の方に寄り添った支援を続けてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				・その時に合わせて支援を受けられます。	今後もお子さまの状況や気持ちに寄り添いながら、柔軟で共感的な支援を心がけてまいります。

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	1	1	1	・父母会があり、年に何度かの交流でも、ものすごくありがたいです。他の事業所を利用させてもらっていますが、交流がなくて不安です。	こうしたつながりの場がご家族にとって大切であることを改めて感じています。今後も保護者の方やきょうだい同士が安心して交流できる機会づくりに努めてまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13			2	・こどものことで悩んでる時、やっぱり親としてどうしたら良いか難しい時も一緒にになって考えててくれて、答えというか考え方を教えて頂けて助かります。	今後もお話しやすい体制づくりと、迅速かつ丁寧な対応を大切にしながら、保護者の方に寄り添った支援を続けてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	1			・SNS等を拝見するのが楽しみです。	今後も活動の様子や行事予定、自己評価の結果などを分かりやすく発信し、保護者の方に安心していただける情報提供に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			2	・無回答1 ・個人情報をすごく気を使って頂いてます。	今後もお預かりした情報を適切に管理し、安心してご利用いただけるよう細心の注意を払ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1		1	・しっかりとマニュアルがあり安心です。	今後も保護者の方に分かりやすく周知し、万が一に備えた訓練を継続して実施することで、より安全な環境づくりに努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1	1	5	・災害の時など、避難場所として利用できることを教えていただきました。ありがとうございます。	非常災害に備えた訓練について、災害時には避難場所として利用できることを教えていただき安心した、とのお声をありがとうございます。また、『分からない』『いいえ』『どちらともいえない』といった回答があった点についても受け止め、今後は訓練の実施状況や避難時の流れについて、より分かりやすく周知できるよう努めてまいります。」
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			2		安全に関する取り組みや計画について、より分かりやすく丁寧にお伝えし、保護者の方が安心していただけるよう周知方法の改善に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10		1	4	・こういう事案がないので分からないです、ないにこしたことはないです。安全安心にすごせて何よりです。 ・ケガをした時（ほとんどありませんが）ちょっとした事でも、すぐに教えて頂けます。	今後も安全な環境づくりを最優先にしつつ、万が一の際には迅速かつ丁寧に状況をお伝えできるよう、体制を整えてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13			2	・毎週きらりさんの日をいつもとても楽しみにしています♪ ・先生にお会いできる事、毎回の自由時間などでの活動全て安心できます。	温かいお声をありがとうございます。お子さまが楽しみながら安心して過ごせていることを大変うれしく思います。今後も安心感のある環境づくりと、楽しく通える場の提供に努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	3			・毎週きらりさんの日をいつもとても楽しみにしています♪ ・週1回の通所をとても楽しみに学校から帰るとサッパッと切り替えて行きます。	お子さまが前向きな気持ちで通ってくれていることを大変うれしく思います。今後も楽しく安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1			・スタッフの方がみんなとても優しくて、子どもをはじめ、私たち親にもいつも気にかけて下さりとても嬉しいです。1時間があっという間なので、もう少し長いといいなーと思ったりです。もう少し近ければ回数を増やしたいな・・・と思っています。 ・とても満足しています。	温かいお声をありがとうございます。このようなお言葉をいただけることは、スタッフにとって大きな励みになります。今後もお子さま・ご家族にとって安心できる場所であり続けられるよう、より良い支援を心がけてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果				公表日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		同時刻の利用者の相性を考えて支援スペースの選択を行っています。	同時時間帯に利用児が多いと感じる場面があります。特に児童発達支援では集中できる時間が限られているため、職員配置上は対応可能であっても、同時時間帯の利用児数については適切な調整が必要であると考えています。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用定員や子どもの状態等に応じて、職員の配置数を適切に確保しております。	職員の配置数自体には問題はないと考えておりますが、配置数に対して利用児の受け入れが多くなる時間帯が一部に見られます。そのため、より適切な支援環境を維持するためには、時間帯ごとの受け入れ人数の調整が必要であると感じています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		生活空間については、子どもにとって分かりやすいよう構造化された環境づくりを行っています。パーテーションを用いて個室スペースを確保したり、お子様の特性に応じて個室へご案内するなど、安心して過ごせる環境を整えています。また、事業所の設備等についても、障害の特性に応じたバリアフリー化や情報伝達面での配慮を行い、掲示物などにも工夫を凝らしております。	引き続き、お子さま一人ひとりの特性に応じた環境づくりに配慮してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		生活空間については、毎日清掃を行い、清潔で心地よく過ごせる環境を維持しております。また、子ども達の活動に合わせて空間づくりを工夫し、安心して取り組める環境づくりに努めています。	引き続き、お子さまが心地よく過ごせる環境づくりに配慮してまいります。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、子どもが個別の部屋やスペースを使用できる環境を整えております。基本的に個別対応を行っており、パーテーションを用いて個室的な空間を確保するほか、お子さまの特性に応じて個室での支援にも対応できる体制を整えております。	引き続き、お子さまが心地よく過ごせる環境づくりに配慮してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼や終礼に加え、定期的に事業所内でミーティングを実施し、情報共有や振り返りを行いながら改善を進めております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表を通じて保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に活かしております。昨年度も実施し、いただいたご意見を今後の支援向上に反映しております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員の意見を把握する機会を設け、その内容を業務改善に活かしております。朝礼・終礼での情報共有や1on1の個人面談、事業所内での定期的なミーティングを通じて職員の意見を収集し、改善に反映できるよう取り組んでおります。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価については、現時点では実施しておりません。	第三者評価については、現時点では実施しておらず、今後の実施予定もございません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員の資質向上を図るために、会社が連携している発達支援研究所が開催する研修（月3回）に参加できる体制を整えております。また、地域で開催される研修情報を随時共有し、希望する職員が参加できるよう支援しております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページへの掲載および玄関への掲示を行い、利用者や保護者が確認しやすいように情報を提供しています。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリングや目標設定にあたって職員間で話し合いを行っており、適切に取り組めていると感じています。また、日頃から継続的に情報交換を行うことで、支援の質を維持・向上できる体制が整っています。	引き続き体制の整備に努め、より良い支援環境の構築を進めてまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		朝礼や終礼で気になった点を共有しているため、職員間で共通認識が形成されていると感じています。日々の情報交換を通して、支援の質を維持できる体制が整っています。	引き続き、子どもの最善の利益を第一に考え、より良い支援の実現に努めてまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個人ファイルに分け、それぞれに目標を挟んで常に確認しながら支援計画を立てているため、計画に沿った支援が実施できていると感じています。目標を日々意識できる環境が整っており、継続的な質の向上にもつながっています。	引き続き努力を重ね、より良い支援の提供に努めてまいります。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		会社が定めたアセスメントシートを用いてアセスメントを実施しており、統一した基準で情報を整理・把握できる体制を整えています。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画に必要な内容を記載したうえで、保護者への相談・助言を行い、必要に応じて学校への往訪も実施しております。また、放課後等デイサービス計画については、ガイドラインに示されているねらい及び支援内容を踏まえ、具体的な支援内容を明確にしております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。

適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	初回利用時または計画の期限が近づいた際には、会議を行い、内容の確認や調整を行っています。また、各職員が担当の際に計画を立案しており、担当の機会も均等に割り振られていますため、公平性を保ちながら適切に運用できています。	引き続き、チームで協力しながら計画の立案を進めてまいります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	前任者の支援内容を確認したうえで、重複を避けながら個々の児童に合った支援計画を立案しております。また、他職員が実施しているプログラムも把握し、連携を図りながら多様なプログラムの企画・実施に努めています。	今後も引き続き、より良い支援の提供に努めてまいります。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	目標に沿って支援を立案し、必要に応じて適切な頻度で取り入れてあります。また、レクリエーションや午前中の預かりなど、小集団での活動も実施しております。	今後も引き続き、より良い支援の提供に努めてまいります。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日の支援内容や役割分担を確認したうえで、チームとして連携しながら支援を行っています。担当制ではないため、各職員が過去の支援を参考に支援内容を考案し、必要に応じて打ち合わせを行なながら質の高い支援を提供できるよう努めています。	今後も引き続き、より良い支援の提供に努めてまいります。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	気になった点については適宜共有し、必要に応じて打ち合わせを行なっています。情報共有は記録ファイルや朝礼・終までの申し送り、社内システムを活用して進めております。	今後も引き続き、より良い支援の提供に努めてまいります。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	週末毎に確認を行い、記録を確認したり、利用者の状況を確認したりしております。また、記録ファイルへの記入を通して、効率的な情報共有が図られていると感じております。	引き続き、日々の記録を徹底し、支援の検証・改善に努めます。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	6ヶ月ごとにモニタリングを実施し、児童発達支援の内容を振り返りながら必要性を判断し、計画の見直しを行っております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○	放課後等デイサービスガイドラインで示されている『4つの基本活動』を意識し、複数の活動を組み合わせた支援を行なっています。計画の策定にあたってもこれらの視点を踏まえ、プログラムについては基本活動を組み合わせて立案し、実施しております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	子どもが自己選択できるような支援を工夫し、自己決定の力が育まれるよう取り組んでおります。意思を尊重することを大切にし、言葉での表現が難しいお子さまには複数の選択肢を提示するなど、選びやすい環境を整えています。また、自己決定の力を育てることを目的としたプログラムも実施し、一人ひとりの成長につながる支援を行なっています。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	担当者会議や関係機関との会議には、児童の状況をよく理解している職員が参加し、必要な情報共有を行なながら、支援に反映させております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
関係機関や保護者との連携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	つくし園や学校と連携し、支援や保護者への助言につなげる体制を整えています。また、必要に応じて地域の関係機関とも連携し、情報共有を行なっています。	引き続き、地域の教育機関や福祉関連施設と連携し、より良い支援体制の構築に努めてまいります。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	学校との情報共有については、年間計画や行事予定、トラブル発生時の連絡などを、担当者会議で担任の先生に確認したり、学校のホームページを通じて把握したりするなど、適切に行なっています。送迎は実施していないため送迎時の対応はありませんが、子どもの下校時刻など必要な情報については、随時学校と連携し、共有を図っております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	現在通っている学校については往訪を行い、情報共有と相互理解を深めながら、より良い支援につなげています。	就学前に利用していた保育所・幼稚園・認定こども園・児童発達支援事業所等との情報共有については、現状では十分に実施できていない部分もありますが、必要に応じて保護者の同意を得たうえで連携を図るよう計画しております。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	該当者がいないため（令和6年6月オープン）。	該当者がいる場合には、適切に対応し取り組んでまいります。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	月に一度、地域の中核療育施設であるつくし園との勉強会を実施しております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	○	地域交流型のイベントを開催しており、活動の中で地域の方々と交流する機会を設けています。	現時点では多くありませんが、今後もイベント等を通じて交流を図ってまいります。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	自立支援協議会等には積極的に参加しており、担当者（2025年度は児童発達支援管理責任者）が継続して出席しております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	積極的に声をかけるよう努めており、リアルタイムで生じた悩みや課題について相談できる体制が保たれていると考えております。	引き続き、保護者の皆様が相談しやすい体制づくりに努めてまいります。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		年に1回、保護者会にてペアレントトレーニングを実施しております。 2025年度は10月18日に開催 参加家庭数6組	今後も、年1回以上のペアレントトレーニングの機会を提供できるよう計画しております。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行い、質問がある場合には随時対応しております。	引き続き、丁寧な説明を心がけてまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		放課後等デイサービス計画作成にあたっては、こどもや保護者の意思を尊重し、最善の利益を踏まえながら、意向を確認する機会を設けております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者の同意を得ております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的なモニタリング（6ヶ月に1回の面談）に加え、希望者や必要と判断される方には随時声をかけ、相談・面談・助言を行っております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者同士が交流できるよう、スケジュールを調整することがあります。また、保護者会や兄弟児も参加できるイベントを開催し、交流の機会づくりに取り組んでおります。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		こどもや保護者からの苦情への対応体制を整備しております。これまで苦情をいただいたことはありませんが、万が一発生した場合には迅速かつ適切に対応できるよう体制を整えております。	今後も、苦情に至らないよう、日頃から保護者の思いを丁寧に伺い、安心してご利用いただけるよう努めております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		掲示物のほか、公式LINEやInstagram、HP、ブログなどを活用し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に向けて発信しております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いについては、関係法令を踏まえ、適切な管理と保護に十分留意して対応しております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達においては、個々の状況に応じた配慮を行い、安心してやり取りができるよう努めています（筆談の準備・手話の掲示物など）	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		可能な限り取り組むとともに、地域との交流を意識したイベントの企画・実施にも努めています。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等の各種マニュアルについては、会社で研修を通じて策定するとともに、事業所においても家族への周知や、発生を想定した訓練を実施しております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害の発生に備えて、定期的に避難・救出等の必要な訓練を実施しております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		フェイスシートに必要項目を記入し、職員間で情報共有を行っております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	当事業所では食事の提供は行っておりません。	今後も、食事の提供の予定はありません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の措置を講じることで、安全管理が確保された環境のもと支援を行っております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		こどもの安全確保に向けて、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容を家族等へ周知しております。周知方法は、掲示と公式ラインでの発信です。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例を事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討を行っております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に向けて、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応を行っております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束を行う場合の基準については、組織として決定し、こどもや保護者へ事前に十分な説明を行い、了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しております。	引き続き、その取り組みを継続してまいります。